

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立玉島小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科や領域において体験活動を取り入れ、その後振り返りを仕組み、互いに褒め合う機会を増やすことができたことで、自己肯定感を高めることや友達の良いところを理解することができた。集団の中で、自他の違いを認め、尊重し、よりよい友人関係を築ける児童を育成していきたい。今後も、学び合い・高め合い・支え合い・認め合いができる集団づくりをしていきたい。</li> <li>学校教育目標の達成のため、地域、家庭と連携を図りながら、教育活動を行ってきた。特に、地域の方々には、様々な場面で学校教育に関わっていただき、体験から学びを充実させることができた。今後も児童の課題意識に応じた体験学習や郷土の課題解決のための取組を行い、地域と共にある学校、地域の期待に応えられる学校となるよう努めていきたい。次年度も地域のよさを生かした活動を仕組み、地域への愛着や誇りをもつことにつなげ、その学びを発信していきたい。</li> </ul>
2 学校教育目標	“たくましく まごころいっぱい しっかり考え まなびあう” 子どもの育成
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①互いのよさを認め合い、自信と自己肯定感を育む「出番・役割・承認」の充実</li> <li>②主体的に学び、自己表現を通して学びを深める授業づくりの推進</li> <li>③自他の命を大切に安全教育・防災教育を充実</li> <li>④ふるさと玉島のよさを学び、地域を大切に育てる「玉島学」の推進</li> </ul>

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○児童が目的意識をもちながら学び合い、考えを深めたり広げたりする授業を行う。自分の学びを自覚できる場を設定する。	○学習に関するアンケート「自らの言語表現を意識して学習に取り組んでいると思う。」、学校評価の質問事項「授業を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。」に肯定的な回答した児童80%以上	・「唐津の学びスタイル」の実践を図り、自己表現力を高める授業改善を行う。チェックシートを活用して学期毎に振り返る機会を設定する。 ・児童の振り返りの記録やアンケートを基に、指導や支援の方法を探り実践する。							
●心の教育	○児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○自問ノートや道徳ノート、人権集会後の振り返りにおいて、豊かな心を身に付けたことが分かる内容を記述したり、アンケートでの回答をした児童80%以上	・自問ノートや道徳ノートの児童の記述に価値を見出しコメントを書く。 ・「ここにこ集会(人権集会)」を年4回実施する。 ・縦割り活動に取り組み、異学年との交流を通して、協力、助け合いができる機会を増やす。 ・学校教育全体で友達のいいところをみつけて紹介し合い、自己肯定感を高める活動を行う。							
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	・玉島っ子アンケートを実施し、児童の生活の問題点を把握、改善する。把握したことや児童の様子などから、毎週の連絡会等で気になることを共通理解をして話し合うようにする。 ・いじめ防止についての研修会を定期的に行う。							
	●児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていてと思う」と回答した児童80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」と肯定的な回答をした児童80%以上 ○「学校での生活が楽しい」と回答した児童80%以上	・授業だけでなく、教育活動全体で自己肯定感を育む取り組みを実施する。 ・体験活動や学校行事の際に、児童に活動の見通しをもたせ、学びの振り返りを行うことで自己の成長に気づくことができる取り組みを実施する。							
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童の交通事故を0(ゼロ)にする ○学校内での大きな事故やケガを0(ゼロ)にする。	・事例研修などを適宜取り入れ、自分事意識や危機意識を高めておく。 ・安全教育は、振り返りを大切にし、自ら命を守るようとする意識を高める。 ・毎月の安全点検を確実にし、事故の未然防止に努める。 ・学校内での安全教育を徹底し、大きな事故や怪我の未然防止を図る。							
	●望ましい生活習慣の形成	○家庭で約束したスマートフォン・ゲーム時間の遵守と「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いた児童80%以上	・授業において睡眠やスマートフォン・ゲーム時間を守ることの大切さを伝える。 ・生活アンケートを定期的に実施し、規則正しい生活習慣の意識を高める。							
	●「運動習慣の改善や定着化」	○週に3日以上、授業以外で運動や外遊びを行う児童が75%以上	・朝や15分休み、昼休みの外遊びを奨励する。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・金曜日に定時退勤日を設定する。 ・その日の退勤時刻を見通した働き方をすすめるよう啓発し、平日18時00分の施錠を目指す。 ・時間外勤務時間調査等をこまめに行いながら、勤務の適正化がよりよい教育効果に繋がることを伝え、タイムマネジメントの習慣化を図る。 ・ICTの活用を積極的にし、業務の効率化を図る。							
	○職員の心身の健康	○本校独自に設定したストレスサイン10項目のうち、該当するものが2項目以下の職員80%以上	・定期的にチェックを行う。 ・心身の不調を防ぐために、コミュニケーションを大切に、ケアの充実を図る。							
●特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員80%以上	・特別支援に関する研修会を実施する。 ・児童理解研修、校内支援員会を開催し、情報共有を図り、学校全体での支援体制を整える。 ・外部機関(SC、SSW)との綿密な連携を図る。							
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○開かれた学校づくり	○保護者・地域との連携	○地域人材を活用した「玉島学」、親子体験活動を年間1回以上全クラスで実施する	・玉島学で、全クラスで地域人材を活用する。 ・全クラスで、親子体験活動を実施する。 ・学校での学びを発信し、保護者・地域の関心を取り込んでいく。							
○小小連携、小中連携の推進	○9か年の学びを念頭に置いた、小小連携、小中連携の推進。	○浜五中学校区での体験活動を実施する。(小6と浜五中1年との体験活動) (浜崎小と平原小との合同体験活動を低学年・中学年・高学年で実施)	・中学校区で共通目標を設定し、実践を行い、評価・改善していく。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
----------------	---